



小学校英語活動 15

5 いったい、これは何だろう？ 象だ！

5 トピック 生き物(1)

活動名	いったい、これは何だろう？ 象だ！	
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ながらヒントを聞き、どんな動物か推測しようとする。 ・動物を表す単語に慣れ親しむ。 	
取りあげる英単語	<生き物> elephant (象) monkey (猿) tail (尾) ear (耳)	
取りあげる英語表現	What's this? (これは何ですか。) Is this an elephant? (これは象ですか。)	
準備するもの 付	<ul style="list-style-type: none"> ・動物のカード ここでは、象と猿のカードを使います。問題として使うカード〔ここでは象〕以外に、tail や ear などの説明用として別のカード〔ここでは猿〕を用意しました。 色もどんな動物かを推測する手がかりになりますので、白黒の絵を使うと活動が難しくなります。また、動物の描き方によっても、難易度が変わります。 <p>※付録 CD には、白黒版の動物カードがあります。部分から全体へと段階的に提示できるようにしてありますので、ご活用ください。</p>	 
活動内容/活動の流れ		
<p>動物の絵を少しずつ、段階的に見せて、児童の興味・関心を高めながら、同じ英語を何度も聞かせる活動です。</p> <p>※ここでは、担任 (ALT) がカードを手を持ち、それを二つ折りで見せたり、四つ折りで見せたりしながら活動を進めていく手順を示しました。他にも、カードを別の紙で隠し、少しずつ見せていくことや、PC とプロジェクタを利用し、提示してもよいでしょう。</p> <p>動物カードを二つ折りにし、半分の面を順番に 2 回程度 (必要に応じて変える) 見せて、何の動物かを尋ねる。</p> <p>※カードを見せるときには、判断しにくい面から見せていきましょう。また、見せる角度も工夫しましょう。</p> <p>ヒントを示しながら、 を再度行う。</p> <p>カード全体を示し、答えは何なのか、確認する。</p> <p>※四つ折りにした動物カードを用意し、①～③を繰り返す。</p>		

こんな英単語も取りあげることができます



cow
(牛)



gorilla
(ゴリラ)



fish
(魚)



moose
(ヘラジカ)



lion
(ライオン)



rhino
(サイ)



walrus
(セイウチ)



hippo
(カバ)



tortoise
(カメ)

こんなヒントを示すことができます



[猿の絵も一緒に使って目や鼻を指しながら]

This is an eye. (目です。) This is a nose. (鼻です。)

[牛乳の絵を示して] It gives us milk. (牛乳を私たちはもらいます。)

It says, "Moo moo." (「モーモー」と鳴きます。)



[肉の丸焼きの絵を示して] It likes meat. (肉が好きです。)

It says, "Roar roar." (「ガオーガオー」と、ほえます。)

[王冠の絵を示して] It is the king of the jungle. (密林の王です。)

ひとくちメモ













動物の鳴き声自体は日本でも海外でもそれほど変わらないはずなのですが、言葉で表すと、同じ音とは限りません。文化の違いの一つです。

「こんなヒントを示すことができます」の欄でも示したとおり、牛の鳴き声は英語では“moo moo”と表します。童謡にもいくつか出てきます。いろいろな言い方やつづり方がありますが、代表的な例を示します。

犬……bowwow 猫……meow meow 豚……oink oink 馬……neigh neigh
ヒヨコ……chick chick 鶏……cock-a-doodle-doo 羊……baa baa
ガチョウ……honk honk アヒル……quack quack ロバ……hee-haw

ちなみに、人間の場合、いびきは zzz、くしゃみは achoo、あくびは yawn です。

5 トピック 生き物(1)

活動の流れ	担任 (ALT) の動き スクリプトとして活用してください。
<p>①動物カードを二つ折りにし、半分の面を順番に2回程度(必要に応じて変える)見せて、何の動物かを尋ねる。</p> <p><u>TTの場合</u> 質問する役割と答える役割を分担するとよいでしょう。</p>	<p>【1】 Now, we'll play a game. (さあ、これからゲームをします。)</p> <p>What's this? An apple? Yes? No? No. It is not an apple. (これは何かな。リンゴかな。違うね。リンゴではありません。)</p> <p>Is this ナス—an eggplant? No. It is not ナス—an eggplant. (ナスかな。違います。ナスではありません。)</p> <p>What is it? (何かな。)</p> <p>◎児童が答えたら、まずそのまま繰り返す。日本語の場合は“かぼちゃ—a pumpkin?”などと英語表現を付け加えることも可能である。答えに対しNo.などと応じてよいが、正解の場合は①では応じられない。</p> <p>【2】カードの別の面を見せて尋ねる。</p> <p>What's this? Is this a monkey? No. It is not a monkey. (これは何かな。[猿の絵を示す。]猿かな。違います。猿ではありません。)</p> <p>What is it? (何かな。)</p> <p>◎児童の答えに対応する。</p> <div style="text-align: right;">      </div>
<p>②ヒントを示しながら、①を再度行う。</p> <p><u>TTの場合</u> ヒントを示す役割と、それをそのまま繰り返す役割とを分担するとよいでしょう。</p>	<p>【3】 Now, I'll give you some hints. (ヒントです。)</p> <p>◎象カードの尾を指して This is a tail. (尾です。)</p> <p>◎猿カードの尾を指して This is a tail. (尾です。)</p> <p>◎もう一度、象カードの尾を指して This is a tail. (尾です。)</p> <p>What's this? (これは何かな。)</p> <p>◎児童の答えに対応する。</p> <p>【4】カードの別の面を見せて</p> <p>◎象カードの耳を指して This is an ear. (耳です。)</p> <p>◎猿カードの耳を指して This is an ear. (耳です。)</p> <p>◎もう一度、象カードの耳を指して This is an ear. (耳です。)</p> <p>What's this? (これは何かな。)</p> <p>◎児童の答えに対応する。</p> <div style="text-align: right;">      </div>
<p>③カード全体を示し、答えは何なのか、確認する。</p>	<p>【5】 What's this? (これは何かな。)</p> <p>You got it! It's an elephant! (正解です。象です。)</p> <p>※「象!」という答えに対しては、“Yes. It's 象—an elephant.”などのように、児童の答えを一度繰り返してから英語表現を付け加えるとよいでしょう。</p> <div style="text-align: right;">   </div>

児童の活動	授業の進め方
<p>二つ折りのカードを見ながら、担任（ALT）の話を聞く。</p> <p>答えを考え、英語（または日本語）で言う。 例 「かぼちゃ?」「ピーマン!」"Banana?"</p> <p>二つ折りのカードを見ながら、担任（ALT）の話を聞く。</p> <p>答えを考え、英語（または日本語）で言う。 例 「ライオン?」「象だ!」"Tiger?"</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>🔊の箇所では CD をとめて、英語（または日本語）で進めてください。</p> </div> <p>🔊 児童の反応を見ながら、 What's this?（これは何かな。） (Is this a) ~?（～ですか。） Yes? No? を数回繰り返します。</p> <p>🔊 児童の反応を見ながら、 What's this?（これは何かな。） (Is this a) ~?（～ですか。） Yes? No? を数回繰り返します。</p>
<p>二つ折りのカードと猿のカードを見て、担任（ALT）の話を聞く。</p> <p>答えを考え、英語（または日本語）で言う。 例 「カバかな?」「象だよ。」 「象って英語で?」</p> <p>二つ折りのカードと猿のカードを見て、担任（ALT）の話を聞く。</p> <p>答えを考え、英語（または日本語）で言う。 例 「やっぱり象だよ。」"Elephant!"</p>	<p>※児童の反応を見ながら、タイミングよくヒントを聞かせましょう。</p> <p>🔊 児童の反応を見ながら、 What's this?（これは何かな。） (Is this a) ~?（～ですか。） Yes? No? を数回繰り返します。</p> <p>🔊 児童の反応を見ながら、 What's this?（これは何かな。） (Is this a) ~?（～ですか。） Yes? No? を数回繰り返します。</p>
<p>二つ折りを開いたカードを見て答えを考え、英語で言う。</p> <p>例 "Elephant!"</p>	<p>🔊 象であることを確認して、クラス全体で担任（ALT）と一緒に"Elephant!"と言いましょ。</p>